

## 平成 30 年度第 2 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 30 年 6 月 10 日（日） 9 時 30 分～12 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター1 階 研修室
- 3 出席者 子ども会議委員 20 名（欠席者 9 名）  
事務局 3 名
- 4 活動内容
  - ・「子どもの祭典」での子どもの権利に関する出張普及啓発活動について
  - ・子ども会議Tシャツのデザインについて
  - ・子ども会議フォーラムの開始時間の意向確認
  - ・子どもの権利に関する講義

### 5 開催概要

今年度 2 回目は、前回に引き続き「子どもの祭典」での活動内容検討と、子ども会議Tシャツのデザイン、子ども会議フォーラムの開会時間などの話し合い、子どもの権利に関する講義を行いました。

「子どもの祭典」は、毎年 7 月に開催され、浪岡地区の子どもたちによる吹奏楽や一輪車などの発表会が行われるほか、大型すべり台、巨大迷路をはじめとする遊具や様々な出店もあり、多くの子ども達が参加し賑わうイベントです。子ども会議では、会場にブースを設けて子どもの権利に関する普及啓発活動を行っています。



前回活動内容の様々な案が出ましたが、スライム作りは安全性に問題があること、水鉄砲の的あてゲームは水鉄砲の調達に難しさが分かり断念することになりました。かわりに、割り箸と輪ゴムを使い、トイレットペーパーの芯で作った玉を飛ばす「的あてゲーム」を行うことにしました。子どもの権利に関心を持ってもらうため、子どもの権利に関するクイズに正解すると的あての玉の数が増えるなどの工夫をします。また、昨年は景品を何度ももらおうとする子が多かったため、「景品をもらえるのは 1 回だけということを徹底しよう」などの意見も出ていました。

昨年度に引き続き実施する「スタンプラリー」は、会場の 4 箇所スタンプ台を設置し、各所で子ども会議委員考案の青森市に関するクイズに答えてもらう予定です。その後、子どもたちはゲームに必要なものや会場の飾りつけに使用するものなどを準備しました。

続いて、子ども会議Tシャツのデザインの話合いを行いました。このTシャツは、ねぶた祭や毎年 11 月に行われる子ども会議フォーラムに参加する際に着用するもので、デザインは子ども会議委員や子どもサポーターが担当しています。

## H30年度子ども会議Tシャツデザイン

- 候補① H29、H28、H27のTシャツデザインのまま。(色変更など)  
 候補② H29、H28、H27のTシャツをベースに微修正。  
 候補③ 右記のデザイン案のどれか。  
 (Tシャツ本体の色・マーク・マークの色など、マークの組み合わせは変更可能。)  
 みんなで話し合っ今年度の子ども会議Tシャツのデザインを決定しましょう！  
 ※案数は「AOMORI CHILDREN'S MEETING」が一般的



## 【H30年度子ども会議Tシャツデザイン案】

話し合いの結果、Tシャツの色は紺色で、背中に大きく金色で『絆』の文字を入れ、左胸に白色ワンポイントでけんりはかせの絵、そして下のI ♥ AOMORIの文字は、ハートだけが金色というこだわりの作品です。

その後、今年度の子ども会議フォーラムの開始時間について話し合いました。午前開始の場合、リハーサルがあわただしくなりますが、本番は昨年度と同じスケジュールを確保できます。午後開始の場合、リハーサル時間は十分確保できますが、本番の開始が遅くなってしまうので不都合もあります。話し合いの結果、集合時間が早くなっても午前開始にすることになりました。みんなで協力してがんばりましょう。

話し合いの後、子どもの権利について学ぶ講座を行いました。講師は昨年度に引き続き、子どもの権利擁護委員の沼田弁護士です。ユーモアを交えながら、子どもたちの大切な権利を学びました。

青森市子ども会議は、子どもの権利条例に基づき、子どもが意見を表明し、参加する場として設置されたものです。子どもの権利条例の考え方にに基づき、子どもにとって最善の利益が図られ、これからも自ら考え学び、ふるさと青森を愛し、自らの夢や未来に向かって挑戦する若者に育ってくれるよう願います。



以上で今回の子ども会議は終了となりました。次回の会議は、青森市浪岡総合公園で開催されるイベント「子どもの祭典」に参加し、「子どもの権利に関する普及啓発活動」を行います。